

平成29年度 第2回理事会 議事録

平成29年7月25日(火)
福島県いわき市 パレスいわや

○出席者

藤田 部長、早川 副部長、中梶 理事長、中田 副理事長、河田 常任理事、高畑 常任理事、
大野 常任理事、小柳 常任理事、月成 常任理事、中野目 常任理事、平葎 理事、
山本 理事、堤谷 理事、塚崎 理事、田中 理事、阿部 事務局長、(坂井田 顧問)

理事会成立定数を満たし、理事会が成立

○部長あいさつ 藤田 光司

- ・福島インターハイ準備御礼
- ・選手が競技力を発揮できる環境づくりに御礼

○理事長あいさつ 中梶 秀則

- ・専門部で協力し合いながら自転車競技の発展に尽力していく。

○議長は規約により部長

○議事録署名人 山本 明弘

1. 協議事項

(1) (2) 決算、予算、事業報告、事業計画

- ・前回理事会で承認済、事業計画合宿等の再確認
→承認

(3) 平成29年度選抜大会について

○日程 最終調整中

開会式：3月22日

トラック：22日～24日

ロード：25日

○30年度について

- ・熊本競輪場被災、11月に熊本競輪場の扱いについて決定する。それ以降に選抜大会の会場について詰めていく。

「総務部会より」

○選抜ロード参加制限について

- ・都道府県定数 1
- ・残りを比例配分とし総数 142 名

○選抜ロード抽選スタート位置について

- ・抽選 1 回
- ・これまでのように、各都道府県選手を一括して同じ位置に配置するのではなく、グループわけ（前方 A グループ、2 番手 B グループのように）をし、グループごとに抽選結果の順に並べる。よって都道府県内でどこのグループにどの選手を入れるか決定できる。このようにして、専門委員長がロード都道府県内での優先順位をつけて提出してはどうか。

○選抜ロードスタート位置変更および小周回追加

- ・スタート位置を改善、および小周回を追加し安全性や実力上位の選手が上位に出ることができるのではないかと。また、抽選スタート位置も変更となればより相乗効果が狙える。

→その方向で進める。

○選抜比例配分設定タイミングについて

- ・登録一次締め切り時にしてはどうか。
- ・選抜枠を知った状態で新人戦に挑める。
- ・1 年生は 2 次登録から登録することも考えられる。

→継続審議

○女子ロードのみ参加者の基準について

- ・全国大会実績者を書類選考により若干名参加を認めてはどうか。あくまでも、都道府県大会予選を経て選出されるべきなので、その追加として当該年度全国大会より選出。
- ・男子同様にトラック、ロードともに特別枠を設けてはどうか。

『全国大会実績者を書類選考により若干名の参加を認める方向で検討』

(4) 30年度インターハイについて

○女子参加要項

- ・原案通り
- ・女子表彰は6位までとする。

(5) ジャパンカップ・ホープフル・クリテリウム

○強化より選考参加する。

(6) 各部会より

「総務部会」

○加盟校負担金変更について

→継続審議

○危機管理マニュアル

- ・都道府県大会で求められる方向
- ・ひな形（制作中）の報告

「競技運営部会」

○制限タイム見直し

- ・今年度はなし

「強化育成部会」

○女子合宿

- ・ブロックより女子についても全国合宿への推薦を依頼する。
- ・補欠も含めて、優先順位付けをおねがいしたい。

○ジャパンカップホープフルクリテリウム

- ・インターハイ学校対抗上位校に3名枠を割り振る。
- ・現在JCFへ補助のお願い、およびレース距離の延長を要望している。

○パシフィックリム

- ・12月予定 開催地未定
- ・スタッフ6名 男子7名 女子7名

○トラック全国合宿

12月22日（金）から27日（水）5泊6日予定
日程が一日短縮になる可能性がある。

- 女子トラック合宿
 - ・ 1、2年生対象
 - ・ 年度末開催であったが日程的に大変厳しい。
 - ・ 10月から1月の期間に移動予定。会場調整中

「理事長より」

- J C F の理事就任報告
 - ・ 中梶 理事長、中田 副理事長、坂井田 顧問 が理事就任

- 全国高体連（本体）より
 - ・ 30年度より外部指導者引率可能。資格制限を検討中。

- H 3 2 年度インターハイ開催地候補について
 - ・ 13競技がいまだに開催地未定
 - ・ 長野県は正式に不可
 - ・ J K A の補助金が見込める今年度中に決定したい